

三十周年を迎えて

代表取締役 澤元教哲



2月の技能グランプリで銀メダルの小澤と

皆さま明けましておめでとうござ
います。本年は創業三八年目、そし
て昭和六十三年に株式会社組織変
更して三十年を迎える節目の年
になります。そしてこの「心ゆたかに」
も二三年目になりました。これも
ひとえに皆様のおかげと感謝して
おります。弊社が現在あるのも元
養源寺住職の水野正裕様(現・蔵泉
寺住職)のおかげです。昭和六十一年
に養源寺様の本堂を手掛け、その
後、数ヶ寺のご紹介をしていただ

いたことを忘れることはできません。

振り返ってみますとあつという間の
三十年でした。二十代の時にお寺の仕
がしたいと思っていると不思議な縁を
いただき、あるお寺さんから声がかかり、
喜んで行ってみると屋根裏の掃除で、ま
た他のお寺さんでは縁の下の修理なんて
いうこともありました。今となつては笑
い話ですが、このようの小さな仕事も精
一杯やらせて頂く方針は現在も変わつて
おりません。

三十歳を迎えた昭和六十三年の一月に
株式会社 天峰建設にいたしました。こ
の頃は、少しずつですがご寺院の仕事を
させていただくようになり、檀家の皆様
の大切な浄財でお仕事させていただくの
で、社会的信用も必要だと考えたからで
す。その後はご住職方の親睦の席にも呼
んでいただけるようになり、また旅行や
ゴルフにも誘っていただきいいお付き合
いをさせていただいております。

平成二十年には静岡県技能マイスター
の認定を受け、毎年県からの依頼で学校
へ出向き講演を行っております。昨年は
九校の小中学校へ出向き、鉦がけの実演

をした後に児童に実際に体験してもらい
ました。このような体験してもらうこと
によって、少しでも大工という職業に興
味を持ってもらえればと思います。

去年は弊社では初めての石場建て工
法で、五十棟目になる竹林寺様の本堂が
完成し、聖眼寺様の本堂改修工事・龍雲
寺様涅槃堂・閑田寺様の庫裡の新築工事
などが無事に終わることができました。
また建設業の許可もこれまでの一般建設
業から特定建設業の許可を取得いたしま
した。そして昨年の暮れには静岡浅間神
社様(国指定重要文化財)の、楼門保存
修理工事の入札に参加させていただきました落
札することができました。これまで静岡
浅間神社様の工事は他県の業者が行つて
いましたが、今回初めて県内の業者とし
て弊社が入ることができました。

また私は今年六十歳になり還暦を迎え
ますが、今後もこれまでと同様、驕るこ
となく地道に堂宮大工として精進してい
く所存でございます。そして長男の薫が
専務取締役となり、今後は後継者として
勉強をさせていただきます。最後に社員
一同、これからも日本古来の美しい建築
物を残すための努力と勉強を欠かすこと
なく頑張ってください。

青空の中で上棟式

澄み切った青空が広がる一月二五日に千手寺様（妙心寺派・松山正宗見性寺住職兼務・磐田市）で本堂の上棟式が行われました。檀家の皆様の念願がかない上棟式の日を迎えることができました。

上棟の法要はご住職の読経が響き渡る中、参列者は焼香をして工事の安全を祈願いたしました。次に大工による工匠の儀を行い上棟式は終了しました。

工事の完成は平成三十年十月の予定で進めており、現在は屋根の瓦葺きが始まり、内部の大工工事も順調に進んでいます。



法要前にご住職や檀家の皆様と
記念撮影を

宗心寺様では地鎮式



平成 25 年の本堂屋根替え・耐震補強工事に
続きご用命いただき感謝しております。

御前崎市の宗心寺様（曹洞宗）では書院・庫裡新築工事の地鎮式を十二月四日に執り行いました。旧書院と庫裡が解体され、更地になった境内は広く感じられます。建設地の四隅をお清めし、ご住職の読経と共に総代の皆さんが順次ご焼香をあげ、工事安穩を祈りました。法要後は起工式を行い筆頭総代が鎌入れを、ご住職が鋤入れを、そして弊社の社長が鍬入れを行い滞りなく式が終わりました。平成三十年三月に上棟式を行う予定になっております。

静岡浅間神社様

楼門保存修理工事着工

二十年かけての化粧直し「平成の大改修」を行っている静岡浅間神社様では、国の重要文化財である楼門保存修理工事を請負わせていただくことになり、年明けから着工しております。

徳川幕府時代である約二百年前に全国から腕利きの職人たちを集結させ幕府直営工事として六〇年かけて再建させた社殿群には、大工、漆、彩色、装飾など粋を極めた技を随所に見ることができます。静岡の宝を守り、伝えていく手助けをできることに感謝し、静岡県内の一業者として誇りをもって工事に邁進していきます。



下地の補修後、漆塗り・彩色・金具をやり直し、平成 31 年 11 月には創建当時の極彩色が蘇ります。

「宗教界の未来」

日本テンプルヴァン(榊井上拓郎)

「ロボット導師」

あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

昨年、囲碁AIの「AlphaGo

(アルファゴー)」が、世界最強といわ

れる中国の柯潔(か・けつ) 棋士九段との対局に三戦全勝する出来事がありました。

文字通り、AI(人工知能)を持ったコンピュータと人間による対局であったわけですが、現代ではAIが人々の生活をより良くする為に、様々なものに活用されています。身近なものとしては自動車(自動運転支援)や掃除機(掃除ロボット)、洗濯機

やエアコンなどの機械製品があります。これらは、センサーやリーダーなどで現状認識をおこない、モーターなどの動力部分を自動で操作し、最適な動作をおこなう様に製品化されています。またiPhone

(아이폰) などの携帯電話が使われている方はご存知かと思いますが、siri(シリ)などの音声対応型もあります。携帯電話に向かって質問をすると、それに対応した回答を返してくれます。例えば「○齋場はどこ？」と聞くと、そこまでの行き方をナビしてくれたりします。

人工知能によって人々の暮らしが便利

になりましたが、その反面、将来的に人工知能を持ったロボットや機械に置き換わる職業というものも出てきました。その中でも代表的なものとして、企業の受付業務があります。今までは、受付にて人が案内をしておりましたが、最近では「Pepper(ペッパー)」という人型ロボットを置いているところがあります。このペッパーは、ソフトバンクロボティクスが販売する感情認識ヒューマノイドロボットといい、ソフトバンクの携帯ショップなどで置いてあるところがあります。実はこの「ペッパー」ですが、今年のエンディング産業展に「ロボット導師」としてお披露目されました。袈裟をまとい般若心経を誦経し、木魚もたたくというこのロボットは、1日五万円で貸し出すそうです。ちなみに依頼される方の宗旨にあった誦経をおこなうようですが、引導を渡すから導師なのであって、このロボットに引導作法が出来るのでしょうか？(引導作法のない宗派もありますが…)

この先二〇年で半分の職業がロボット(AI)に置き換わると言われておりますが、僧侶がロボットに置き換わる職業になるとは到底思えません。

「ドライブスルー葬儀場」

関東では亡くなる方の五人に一人が直葬といわれております。直葬とは火葬場へ

直接ご遺体を搬入し、通夜や告別式をおこなわず、火葬することになります。ご遺族の金銭的な事情などで、葬送儀礼を簡素化、簡略化する傾向が増えているからです。身内だけで葬儀をおこなう「家族葬」などという言葉も、最近では一般的になってきましたが、葬儀の内容を簡素化した結果なのだと思います。

一方で葬儀の簡略化を売りにした葬儀場が二〇一七年一二月に長野県上田市にオープン致しました。その名も「ドライブスルー葬儀場」です。冠婚葬祭の愛昇殿グループが運営するこの葬儀場では、自動車に乗ったまま、お焼香ができるそうです。

足の悪い方やお年寄りでも、寒い中お焼香に並ぶ必要もなく、車に乗ったまま会葬できる為、今まで諸事情でご参列出来なかった方々にも、ご会葬して頂けるのでは？という趣旨で始めたそうです。葬送儀礼において、省いていいものと、省いてはいけないものが何なのか、後世に伝えていかなければならないと思います。

ちなみに朝の情報番組でドライブスルー葬儀場が「あり」か「なし」の調査結果を公表していましたが、七割の方が「なし」と回答しておりました。まだ抵抗のある方のほうが多くてホッとしました。

知って得する インフルエンザの話

インフルエンザはインフルエンザウイルスによって起こるウイルス性呼吸器感染症です。世界中で、全年齢にみられる普遍的で最も頻度の高い重要な病気で、小児や高齢者で重症化しやすいとされています。インフルエンザのウイルスにはA型・B型・C型の三つの型があり、その年によって流行するウイルスが違います。いずれの型のインフルエンザも一日〜三日の潜伏期をへて、悪寒を伴う高熱、全身倦怠感を伴って急激に発症します。鼻汁・咳・咽頭痛などの呼吸器症状や、吐き気・嘔吐・下痢などの消火器症状を伴うことが多く、頭痛・関節痛も現れます。

インフルエンザの感染は飛沫感染と接触感染です。飛沫感染とは感染者のくしゃみや咳、つばなどと一緒にウイルスが放出され、別の人がそのウイルスを口や鼻から吸込み感染します。そして接触感染は感染者がくしゃみや咳を手で押さえ、その手で周りの物に触れてウイルスがつき、別の人がその物に触ってウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触って感染することです。次にインフルエンザから身を守るた

めには、

① 石鹸で正しい手洗いの仕方を身につけます。

② 普段の健康管理、十分な睡眠とバランスのよい食事で免疫力を高めます。

③ 予防接種を受ける。予防接種を受けることで、発病の可能性を減らすことができます、重症化を予防することができます。

④ 適度な湿度を保つ。温度二二度・湿度五〇%以上の状態を四時間以上保つとウイルスの生存率は六%以下になるとことが報告されています。

⑤ インフルエンザが流行してきたら人混みや繁華街への外出を控える。

気をつけていてもインフルエンザになつてしまったらどうしたらいいでしょうか。インフルエンザウイルスは増殖のスピードが速いため、具合が悪くなつたら早めに医療機関を受診しましょう。発症後適切な治療を開始することが重要です。そして家族とは別の部屋で安静にし十分な睡眠をとり、こまめに水分補給をする。看病する人は一人にして、必ずマスクを着用し、そのマスクも蓋つきのゴミ箱に捨てます。看

病する人もマスクは着用したほうがいいでしょう。鼻をかんだティッシュペーパーも蓋つきのゴミ箱へ。またウイルスが部屋に充滿するので、清潔な部屋にするためにこまめに喚起することも大事です。

今から約百年前の一九一八年〜一九一九年に流行したスペイン風邪はインフルエンザの世界的流行で、発生源はアメリカのデトロイトはサウスカロライナ州付近です。当時の世界人口は一八〜二〇億人と推定されており、感染者は五億人以上、死者は五千万〜一億人に及び全人類の約三割が感染したことになります。日本では当時の人口五五〇〇万人に対し約三九万人が死亡しているようです。一説によるとこの大流行により多くの死者が出たため、第一次世界大戦の終結が早まったともいわれています。

